

2019年度 個人研究実績・成果報告書

2020年 4月 26日

所属・職名	商経学部 教授	氏名	藤原 七重
研究課題	イノベーションと倫理 - 新規産業の正当性の獲得という観点から -		
研究キーワード	イノベーション Fintech	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>本研究の趣旨は、新規性の高い商品やサービスが認知され、社会に受け入れられていく過程と、受容を促す阻む要因を明らかにすることにある。</p> <p>本研究については数年単位で取り組んできたが、ようやく具体的な方向性が見え始めたところである。具体的には制度的組織論、とくにディマジオやオールドリッチらの正当性の理論的枠組みを援用し、フィンテック産業の定性分析を行うことで上記の問題を検討しようと考えている。</p> <p>フィンテック産業においては寄付型のクラウドファンディングが普及をする一方で事業投資や事業資金の融通を目的とした事業者は淘汰されつつある。両者は我が国においてほぼ同時期にローンチした。インターネット上のプラットフォームを通じて資金需要者と資金提供者を結びつけるイノベーションという点では共通しているものの、対極的な状況に置かれている。この背景にはビジネスモデルや戦略の巧拙だけではなく、こうした事業者および新規性の高い事業モデルを受容する社会の在り方が関わってくると考えられる。本年度は、上記の産業や事業者に関する詳細な資料を集めつつ、制度的組織論、とくにディマジオやオールドリッチらの正当性に関わる先行研究の渉猟と整理に時間を費やした。2019年度中に中間報告を行おうと考えていたが、残念ながら年度末の部会等も中止となったため、2020年度に持ち越しとなった。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等</p> <p>【学会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パーソナルファイナンス学会全国大会 統一論題報告 I 司会 (2019年 11月 30日 : 於神奈川大学) ・ パーソナルファイナンス学会イノベーション部会 (2019年 3月 27日 : 於早稲田大学 ※中止) <p>3. 主な経費</p> <p>PC と書籍資料の購入および学会関連費から成る。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項 (表彰、研究資金の受入状況等)</p> <p>とくになし。</p> <p style="text-align: right;">(本文は1ページ以内にまとめること)</p>			